

欧州委員会、「欧州産業ルネサンスに向けて」と題する政策文書を公表

2014年1月27日  
JETRO デュッセルドルフ事務所

欧州委員会は1月22日、「欧州産業ルネサンスに向けて」と題する欧州議会、EU理事会、欧州経済社会委員会へのコミュニケーション（政策文書）を公表した。本コミュニケーションは、3月のEU理事会で行われる産業政策に関する議論のために、産業競争力強化のための優先事項を記載したもの。

本コミュニケーションは、EUの産業の現状について、工業製品（エネルギーや原材料を除く）の貿易黒字が3,650億ユーロに達するほど回復を見せてはいるものの、GDPに占める製造業の割合は15.1%へと低下し、「2020年の目標である20%を大きく下回っている」（タヤーニ欧州委員会副委員長（産業・企業担当））と分析している。また、成長を妨げている事項として、域内の需要が依然として弱いこと、ビジネス環境の改善が不十分であること、イノベーションと投資の水準が依然として低いこと、エネルギー価格の高騰に直面していることを挙げている。

本コミュニケーション中の、知的財産に関する記載は以下の通り。

(2. 統合された単一欧州市場：企業及び生産にとって魅力的な場の創造)

「効果的な標準策定及び知的財産（EUの無形資産の合計の50%を占める）の保護は、イノベーションの促進と新しい技術領域の開発に極めて重要である。欧州委員会は、標準における知的財産権の利用と役割に関する現在進行中の議論の動向を緊密に追い、特化した取組の中でこの問題に対処する必要があるかどうか評価する。」

(5. EU企業の国際化)

「競争力がしばしば先発者優位性とブランド化に由来する中で、EU企業にとって、特に模倣品が深刻な問題となっているクリエイティブな業界において、全ての関連する市場で産業財産権を守ることがますます重要になっている。ビジネスに提供する支援を拡大するため、欧州委員会は既に産業財産権ヘルプデスク・ネットワークをアセアンとメルコスールに拡大し、地理的に広い領域でサービスを提供しており、このような支援サービスをさらに地理的に広げることを検討する。」

— プレスリリースは、以下参照 —

[Commission calls for immediate action for a European Industrial Renaissance](#)

— 報告書の概要は以下参照 —

[Member States need to act to boost European industry](#)

— 報告書の本文は、以下参照 —

[COM\(2014\) 14 final: COMMUNICATION FROM THE COMMISSION TO THE EUROPEAN PARLIAMENT, THE COUNCIL, THE EUROPEAN ECONOMIC AND SOCIAL COMMITTEE AND THE COMMITTEE OF THE REGIONS For a European Industrial Renaissance](#)

— 欧州委員会の産業政策に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州委員会、「成長と経済回復のためのより強力な欧州産業」と題する産業政策コミュニケーション改訂版を公表（2012年10月29日）\(PDF\)](#)

— 欧州委員会の知的財産権・中小企業ヘルプデスクに関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州委員会、メルコスール知的財産権・中小企業ヘルプデスクを開設（2013年12月20日）\(PDF\)](#)

[欧州委員会、アセアン知的財産権・中小企業ヘルプデスクを開設（2013年3月25日）\(PDF\)](#)

— 標準と特許に関する欧州知的財産ニュースは、以下参照 —

[欧州委員会、サムスの標準必須特許に関する確約の申出について意見募集を開始（2013年10月23日）\(PDF\)](#)

(以上)